

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	141-01-01		
事務事業名		市民緑化推進事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		土木部 みどり推進室		連絡先	内線2420
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款 8 土木費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		項 4 都市計画費
					目 3 公園費
対象(誰を・何を)		誕生記念植樹申請者、健康まつり来場者、グリーンボックス市民登録団体			
目的(どうしたいか)		みどり豊かなうるおいのあるまちづくりを進めることを目的とする。			
手段(事業内容)		誕生記念植樹1本(プレート付き)、都市月間PRにおける活動(チューリップ球根の配付)、グリーンボックス市民貸出団体への花苗の配付			

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	1,521	1,530	1,500
人件費	2,639	3,419	3,441
総事業費	4,160	4,949	4,941
うち市負担分	4,160	4,949	4,941

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
誕生記念樹購入	230千円
パンジー購入	799千円
花の土購入	99千円
【特定財源】	

活動指標

指標名	グリーンボックス貸出団体数	単位	団体
指標の説明	街角緑化のためにグリーンボックス(プランター及びハンギングポット)を貸し出している登録団体の数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	109	105	105

参考数値

成果指標

指標名	グリーンボックス貸出団体への花苗の配付	単位	株
指標の説明	貸出団体への花苗の配付数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	14,762	15,000	15,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 緑化の推進は、地球温暖化防止やCO2の削減など、国の最重要課題の一つである。 今後においても市民自らの手で緑化推進するためにも必要な事業である。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		141-01-02			
事務事業名		公共緑化推進事業		事務の種類			
				自治事務(任意のもの)			
担当部署名		土木部 みどり推進室		連絡先			
				内線2420			
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款	8	土木費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		項	4	都市計画費
					目	3	公園費
対象(誰を・何を)		公共施設					
目的(どうしたいか)		みどり豊かなうるおいのあるまちづくりを進めることを目的とする。					
手段(事業内容)		公共施設への花苗及びチューリップ球根の配付し、地域のコミュニティを活性化させ環境美化等を図るものです。					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	355	363	1,070
人件費	2,453	2,469	2,470
総事業費	2,808	2,832	3,540
うち市負担分	2,808	2,832	3,540

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
公共施設花苗購入	106千円
公共施設土購入	186千円
合計	292千円
【特定財源】	

活動指標

指標名	公共施設登録団体数	単位	団体
指標の説明	花苗等の配布対象となる公共施設及び教育機関の数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	62	62	65

参考数値

成果指標

指標名	公共施設への花苗配付数	単位	株
指標の説明			
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	7,246	7,500	7,500

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 緑は、幼稚園、保育園及び小中学校への情操教育に不可欠であり、公共施設の緑化空間の演出に努める。 また、職員及び市民へのみどりの意識向上を図る。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	141-01-03		
事務事業名		緑化推進団体支援事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		土木部 みどり推進室		連絡先	内線2420
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款 8 土木費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		項 4 都市計画費
					目 3 公園費
対象(誰を・何を)		大阪菊花会、羽曳野市みどりの推進協議会、羽曳野市緑の少年団			
目的(どうしたいか)		緑化推進団体の育成			
手段(事業内容)		大阪菊花会ー菊花大会、菊花講習会、菊苗無料配布。 羽曳野市みどりの推進協議会ー都市月間PR活動、花苗無料配布。 羽曳野市緑の少年団ー駅前花いっぱい活動、緑の募金活動。 グリーンフェスタはびきの、市民フェスティバルへの共催			

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	1,938	1,935	1,938
人件費	4,151	4,178	4,190
総事業費	6,089	6,113	6,128
うち市負担分	6,089	6,113	6,128

元年度決算主な内訳
【事業費】
羽曳野市みどりの推進協議会 助成金 386千円
大阪菊花会助成金 835千円
市の木タチバナ保存助成金 30千円
羽曳野市緑の少年団助成金684千円
合計 1,935千円
【特定財源】

活動指標

指標名	緑化推進団体数		単位	団体
指標の説明				
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
	4	4	4	

参考数値

成果指標

指標名	緑化推進団体登録人数		単位	人
指標の説明				
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
	139	139	132	

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 (大阪菊花会) 高齢化により会員が減少し、今後、若い会員の加入や育成が急務となっている。 (羽曳野市緑の少年団) 少子化により団員数が減少している。 緑の大切さを育てる心を養い、健康で心豊かな人材の育成を図る。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	141-01-04				
事務事業名		菊花大会開催事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名		土木部 みどり推進室		連絡先	内線2420		
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款	8	土木費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		項	4	都市計画費
					目	3	公園費
対象(誰を・何を)		市民					
目的(どうしたいか)		菊花の培養並びにその技術の向上、鑑賞市民の情操の融和を図り、緑豊かな潤いのある街づくりに資することを目的とする。					
手段(事業内容)		日本を代表する花「菊」を大阪菊花会会員や市民が育てた菊花を羽曳野市民や近畿一円の菊花愛好者に対して披露し展示する。					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	1,435	535	476
人件費	4,906	4,178	4,190
総事業費	6,341	4,713	4,666
うち市負担分	6,341	4,713	4,666

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
消耗品	151千円
印刷製本費	274千円
市民緑化推進費	86千円
筆耕料	24千円
	合計535千円
【特定財源】	

活動指標

指標名	菊花大会出展数	単位	展
指標の説明			
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	100	100	80

参考数値

成果指標

指標名	菊花大会来場者数	単位	人
指標の説明			
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	5,000	3,000	3,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 会員の高齢化に伴い、出展数の減少が予想される。 若い人材の育成に力を注いでいかなければならない。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		141-02-01			
事務事業名		みどりの講習会開催事業		事務の種類			
				自治事務(任意のもの)			
担当部署名		土木部 みどり推進室		連絡先			
				内線2420			
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款	8	土木費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		項	4	都市計画費
					目	3	公園費
対象(誰を・何を)		みどりの講習会受講希望者					
目的(どうしたいか)		季節にあったテーマを選び自然を知り、緑をふやし育てる心と技術を学習し、講習会を通じて市民自ら緑化推進を図ることにより緑の輪が全市へ広がるきっかけを作る。					
手段(事業内容)		季節にあった花苗を選定し、講義や実習を通して身近な家庭園芸から緑化推進を行う。					

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	269	268	271
人件費	3,209	3,228	3,220
総事業費	3,478	3,496	3,491
うち市負担分	3,311	3,335	3,311

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
教材費	268千円
【特定財源】	
みどりの講習会参加費	
@1,500円×107名=161千円	

活動指標

指標名	みどりの講習会開催数		単位	講座
指標の説明				
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
	3	3	3	

参考数値

成果指標

指標名	みどりの講習会参加人数		単位	人
指標の説明				
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
	111	107	120	

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市民からの問い合わせも多く非常に関心が高い。 家庭園芸から緑化を推進するためにも必要である。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		141-02-02			
事務事業名		グリーンフェスタ開催事業		事務の種類			
				自治事務(任意のもの)			
担当部署名		土木部 みどり推進室		連絡先			
				内線2420			
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款	8	土木費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		項	4	都市計画費
					目	3	公園費
対象(誰を・何を)		市民					
目的(どうしたいか)		豊かな「みどり」が人にもたらす恩恵の素晴らしさを理解してもらい、未来を担う子供たちが緑を愛し、守り、育むことを目的とする。					
手段(事業内容)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催は中止となった。 昨年度は、羽曳野の春・・・平成から新しい時代へをテーマに峰塚公園(モニュメントゾーン横)において開催した。					

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	2,055	1,108	1,600
人件費	4,151	4,178	4,190
総事業費	6,206	5,286	5,790
うち市負担分	6,206	5,286	5,790

元年度決算主な内訳	
【事業費】	
講師謝礼	30千円
印刷製本費	160千円
市民緑化推進費	185千円
広告料	91千円
会場設営委託料	499千円
合計	965千円
【特定財源】	

活動指標

指標名	グリーンフェスタ開催数	単位	回
指標の説明			
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	1	1	0

参考数値
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

成果指標

指標名	グリーンフェスタ来場者数	単位	人
指標の説明			
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	4,000	4,000	0

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・統合 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市民参加のイベントとして、市民が集う時にみどりの大切さと意識高揚を図るためにも必要である。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	141-03-01		
事務事業名		アドプトロード推進事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		土木部 みどり推進室		連絡先	内線2420
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款 8 土木費
	施策の方向	1	緑地の保全と緑化の推進		項 4 都市計画費
					目 3 公園費
対象(誰を・何を)		地元小学校・中学校、高鷲駅前を育む会			
目的(どうしたいか)		本会は、地域の顔である近鉄南大阪線「高鷲駅」周辺を行政・地域住民を含めた多様な関係者が協働して「美しく魅力あふれる駅前の空間づくり」を行なうとともに、この活動を通じて、地域の和を育み、心豊かな人づくり・笑顔と活気あふれるまちの創造を目指す。			
手段(事業内容)		小・中学校に土と花苗を支給し、学校内で育て、育苗後の花を学校緑化及び高鷲駅前に高鷲駅前を育む会とともに定植し、緑化推進を行う。			

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	327	346	480
人件費	3,023	3,036	2,998
総事業費	3,350	3,382	3,478
うち市負担分	3,350	3,382	3,478

元年度決算主な内訳
【事業費】
花苗購入 93千円
用土購入 180千円
水道料金 17千円
合計 290千円
【特定財源】

活動指標

指標名	地元町会及び小・中学生の参加人数		単位	人
指標の説明				
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
	200	200	200	

参考数値

成果指標

指標名	高鷲駅前周辺のプランター及び花壇への植		単位	株
指標の説明				
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
	3,000	3,000	3,000	

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 平成19年度から始まり、令和2年度で14回目を迎え、年2回夏と冬の定植を行って来ている。 夏は羽曳野市、冬は大阪府で行っているが、令和2年度から大阪府の予算削減のため、羽曳野市単独での予算をしている。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード		142-01-01			
事務事業名		公園管理事務事業		事務の種類			
				自治事務(任意のもの)			
担当部署名		土木部 道路公園課		連絡先			
				内線2230			
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款	8	土木費
	施策の方向	2	身近な公園の維持管理体制の充実		項	4	都市計画費
					目	3	公園費
対象(誰を・何を)		公園利用者					
目的(どうしたいか)		市民が安全で快適に利用できるよう、適正な維持管理を行う。					
手段(事業内容)		<ul style="list-style-type: none"> 公園、緑地の定期安全点検 日常清掃、公衆トイレ等の管理委託 老朽化による施設や遊具の修繕補修 公園、緑地内の植栽の剪定や灌水、芝生の刈り込み 病害虫の駆除等の管理作業 公園駐車場の運営 					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	44,676	47,561	50,929
人件費	12,036	15,239	15,938
総事業費	56,712	62,800	66,867
うち市負担分	56,624	62,800	66,867

元年度決算主な内訳
【事業費】 シルバー委託料: 10,920千円 修繕費: 11,783千円 害虫駆除手数料: 169千円 樹木処分費: 2,798千円 植栽管理工事費: 21,601千円 原材料費: 288千円 【特定財源】

活動指標

指標名	修繕件数	単位	件
指標の説明	通報又は、発見による緊急に修繕が必要な箇所		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	115	83	100

参考数値
修繕件数: 82件 害虫駆除件数: 3件 樹木処分件数: 18件 原材料購入件数: 10件

成果指標

指標名	修繕箇所	単位	件
指標の説明	公園を安全安心に利用してもらうことにつながる。		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	115	83	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 今後、公園施設の経年による老朽化により増加が予想される維持管理経費については危惧を持っているところであるが、市民との協働や職員による修繕対応範囲の拡大等によるコストの抑制など、より一層の効率性を追求するとともに、高齢者や障害者等の社会的弱者に対応できるようなバリアフリー化や遊具・施設の点検、修繕個所の迅速な対応強化など、利用者の利便性、安全面の確保に努める。なお、身近な公園については、地域ニーズを十分に反映した市民参画による管理運営を検討する。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	142-01-02				
事務事業名		公園等維持管理事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)		
担当部署名		土木部 維持管理課		連絡先	内線2911		
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款	8	土木費
	施策の方向	2	身近な公園の維持管理体制の充実		項	1	土木管理費
対象(誰を・何を)	公園・児童遊園						
目的(どうしたいか)		安全・安心、快適に使える					
手段(事業内容)		①公園維持管理に関する苦情の対応 ②遊具等の点検及び修繕 ③公園・緑地等の清掃・草刈り・樹木剪定及び防虫					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	5,516	4,241	5,913
人件費	16,985	16,581	17,447
総事業費	22,501	20,822	23,360
うち市負担分	22,501	20,822	23,360

元年度決算主な内訳
【事業費】 ブランコ座板購入(取替用) ウッドスター購入(防除薬品) 他
【特定財源】

活動指標

指標名	作業実施件数	単位	件
指標の説明	依頼に基づく作業件数+自主作業件数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	328	470	350

参考数値

成果指標

指標名	作業実施率	単位	%
指標の説明	作業実施件数÷(依頼件数+自主作業件数)×100		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	100	100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市民の憩いの場所である公園は、安全かつ快適に利用できる施設として継続的に維持管理する必要がある。しかし、市内には非常に多くの公園施設があり、直営のみで管理することは困難と思われる。手法については、施設所管課の道路公園課と協議し検討していく必要があると考える。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	143-01-01		
事務事業名		(仮称) タカキタフラワーガーデン整備事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		市長公室 政策推進課		連絡先	内線3513
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある住みよいまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款 2 総務費
	施策の方向	3	特色と親しみのある公園づくりの推進		項 1 総務管理費
					目 5 企画費
対象(誰を・何を)		高鷲北幼稚園跡地			
目的(どうしたいか)		防災機能を備えた地域の交流拠点となるよう、花と緑あふれる憩いの空間を整備			
手段(事業内容)		整備に向けた設計業務の実施			

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	0	5,714	174,155
人件費	0	759	375
総事業費	0	6,473	174,530
うち市負担分	0	6,473	375

元年度決算主な内訳
【事業費】 拠点施設整備設計業務等 5,714千円
【特定財源】

活動指標

指標名	拠点施設整備設計		単位	件
指標の説明	目的を達成するために必要となる設計の実施			
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
		1		

参考数値

成果指標

指標名	設計書の作成		単位	件
指標の説明	活動指標に対する成果			
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
		1		

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きくない。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 当該交流拠点の整備に関しては、令和元年度中に発生した新型コロナウイルス感染症拡大等、昨今の国内・市内の情勢を踏まえながら、適切に事業展開する必要があること。また、整備時期についても、一定の見直しが必要であると判断している。